授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	ホテルビジネス科	教科の区分	系基礎学科
教科の科目	サービス企業概論		
授業科目	ホスピタリティマーケティング論	単　位	2
授業科目の目標	ホスピタリティ産業の分類と概要、及びその様々な産業が必要とされる背景、ターゲット像、マーケットトレンドに関する知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. ホスピタリティ産業の分類と概要	(1) ホスピタリティ産業に求められる事と現状 (2) 事業、分類別で見るホスピタリティ (3) 現在の社会に於けるホスピタリティの重要性	6 H
2. ホスピタリティ産業の多様化と背景	(1) ホスピタリティ産業の社会的役割 (2) ホスピタリティ産業が生み出す価値（事業経営基本能力） (3) ジェンダー平等	8 H
3. ホスピタリティ産業のICT	(1) メディアの変化 (2) ネットコミュニティー (3) 口コミ、新しい需要の創出と需要変容の誘発	6 H
4. データと現状から探る旅行市場	(1) マーケットトレンド ① マーケティング戦略 ② インバウンドの現状と動向	6 H
5. 新しい旅行価値の形成・創出	(1) プランニング ①マーケティングデータの活用 ②サスティナブルツーリズム	10 H
		合計 36 H
使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ等機器	

令和4年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	ホテルビジネス科	教科の区分	系基礎学科
教科の科目	サービス企業概論		
授業科目	レクレーション論	単　位	2
授業科目の目標	人々の余暇生活やレクレーションに関する理論と実技を理解する。また、レクレーションを積極的に取り入れることで充実した生活設計をし、必要に応じてレクレーション支援の計画立案と実践能力についての知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. ホスピタリティ産業の分類	(1) 第三次産業 (2) レクレーションの意義、歴史的背景	6 H
2. ホスピタリティ産業の概要	(1) これからのレクレーションの在り方 (2) ライフステージごとのレクレーション (3) 高齢化社会の課題に向けたレクレーション (4) 少子化の課題に向けたレクレーション (5) 地域のレクレーションの捉え方と取り組み方	18 H
3. ホスピタリティ産業の組織	(1) レクレーション支援の考え方と期待される役割 (2) 個人を支える組織づくり	6 H
4. ホスピタリティ産業に関係する法規	(1) レクレーション活動の安全管理	6 H
		合計 36 H
使用する機械器具等		

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	ホテルビジネス科	教科の区分	系基礎学科
教科の科目	経営学概論		
授業科目	経営概論	単　位	2
授業科目の目標	企業経営及び経営における管理（経営計画、販売管理、管理マネジメントなど）についての知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時　間
1. 経営学の基礎	(1) 経営についての概論としホテルビジネスの基本と発展、変遷 (2) ホテル企業会計の構造と環境システムについて (3) 宿泊施設のおけるDX化	8 H
2. 経営者の役割	(1) ホテルビジネスの収益構造と経営形態 (2) ホテル財務会計の仕組みと会社法によるホテル会計 (3) ディーセントワーク	10 H
3. 経営理念・目標・戦略	(1) ホテル関連法規と概要 (2) 経営戦略の立て方と中期経営計画 (3) 支出のバランスと事業展開に役立つ判断基準	10 H
4. 経営資源とマネジメント	(1) 不動産ファンドとホテル企業会計 (2) ホテル・アセット・マネジメントとプロパティ・マネジメント (3) 意思決定とリスク・マネジメント (4) ホテル産業の将来展望と課題	8 H
		合計 36 H
使用する機械器具等		

令和4年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	ホテルビジネス科	教科の区分	系基礎学科
教科の科目	接客心理学		
授業科目	ホスピタリティマインド論	単　位	2
授業科目の目標	接客業務の基本であるホスピタリティマインドの意義と重要性、日常の生活や仕事を通じて精度の高いホスピタリティの提供についての知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時　間
1. 心理学概論	(1) ホスピタリティとは (2) サービス産業人としての意識のあり方 (3) ホスピタリティマインド	8 H
2. サービスと顧客心理	(1) 顧客満足・従業員満足 (2) 話し方、伝え方、傾聴の仕方 (3) ６大顧客心理	18 H
3. ホスピタリティ論	(1) ホスピタリティとクレームの関係 (2) ホスピタリティと日本文化の関係性 (3) ホスピタリティとプロ意識	10 H
		合計 36 H
使用する機械器具等		

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	ホテルビジネス科	教科の区分	系基礎学科
教科の科目	表現学		
授業科目	コミュニケーション論	単　位	2
授業科目の目標	コミュニケーションの本質・役割を理解し、自分らしい行動をデザインする方法習得する。また、様々な場面でのマナーや言葉使い、特に敬語コミュニケーションについての知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. コミュニケーションの基本	(1) コミュニケーションの本質 (2) 自分自身のコミュニケーションスタイル (3) 傾聴力 (4) アサーションの理解	8 H
2. 文章表現	(1) 社内文書と社外文書 (2) 話し言葉と書き言葉の違い	6 H
3. 会話表現	(1) 簡単な外国語での表現 (2) 相手に合わせた会話表現	8 H
4. 敬語の使い方	(1) 尊敬語、謙譲語、丁寧語の違い (2) 間違えやすい二重敬語	6 H
5. 電話応対	(1) 電話の掛け方と受け方 (2) メモの取り方	8 H
		合計 36 H
使用する機械器具等		

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	ホテルビジネス科	教科の区分	系基礎学科
教科の科目	流通管理学		
授業科目	流通概論	単　位	2
授業科目の目標	物流の構造、形態、経済的機能、流通構造、サービスに関する特性についての知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時　間
1. 計数知識	(1) 物流・流通の基本概要 (2) 戦略流通とコスト管理	6 H
2. 流通の仕組と役割	(1) 物流システムと物流センターの仕組み (2) 受注システムと在庫管理 (3) 輸送管理システム	12 H
3. 流通の現状と課題	(1) ロジスティクスと流通構造変革 (2) グローバリゼーションと国際物流 (3) 通信販売の物流 (4) 先進企業の取組み (5) 物流コストの低減	18 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ等機器

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	ホテルビジネス科	教科の区分	系基礎学科
教科の科目	公衆衛生学		
授業科目	公衆衛生学	単　位	2
授業科目の目標	公衆衛生学概論、感染症とその予防、医療制度などの知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時　間
1. 公衆衛生概論	(1) 公衆衛生の定義と歴史 (2) 公衆衛生の領域と活動の特徴	4 H
2. 環境衛生	(1) 現代の健康影響の諸相 (2) 集団の特徴と扱う医学	6 H
3. 安全衛生の概要	(1) 健康の指標と人口問題 (2) 食品保健と栄養	4 H
4. 衛生管理	(1) 感染症とその予防 (2) 健康の指標	4 H
5. 災害とその対策	(1) 現在の地球環境について (2) 日本の環境と保全対策	8 H
6. 職業病	(1) 生活習慣病の概念と現状 (2) 産業保健	6 H
7. メンタルヘルス	(1) 職業病以外の健康課題と労働環境の改善	4 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ等機器

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	ホテルビジネス科	教科の区分	系基礎学科
教科の科目	簿記及び会計学		
授業科目	経営財務論	単　位	2
授業科目の目標	企業財務会計について、財務諸法の概要、財務諸表の見方と分析、サービス業の財務的特徴についての知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 簿記会計の基本	(1) 簿記の必要性 (2) 取引、勘定、仕訳、転機 (3) 貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書 (4) 財務会計と管理会計の違い	16 H
2. 決算の基本	(1) 貸借対照表 (2) 損益計算書 (3) 精算表	12 H
3. 身近な税金	(1) 給与の明細 (2) 会社の保険料の成り立ち (3) 厚生年金と国民年金	4 H
4. 会社の財務	(1) コスト (2) 物の値段	4 H
		合計 36 H
使用する機械器具等		

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	ホテルビジネス科	教科の区分	系基礎学科
教科の科目	情報処理論		
授業科目	情報処理概論	単　位	2
授業科目の目標	ビジネスに必要とされる情報機器の概要と役割、および情報機器を扱う上で関連する項目についての知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. パソコンと周辺機器	(1) パソコンの種類と構成 (2) ハードウェアとソフトウェア (3) 周辺機器の種類と機能	4 H
2. ネットワーク	(1) コンピュータネットワークとは (2) コンピュータネットワークの分類 (3) コンピュータネットワークを構成する機器	4 H
3. インターネット	(1) インターネットの仕組み (2) プロトコル (3) IPアドレスとドメインシステム (4) 電子メールシステム (5) メールの書き方、CC、BCCの利用方法 (6) WWWシステム (7) クラウドコンピューティング	12 H
4. アプリケーションソフトウェア	(1) 文書作成ソフトウェア (2) 計算ソフトウェア (3) プレゼンテーションソフトウェア (4) その他のソフトウェア	12 H
5. コンピュータセキュリティ	(1) コンピュータセキュリティの概要 (2) ウィルス対策・感染時の対応・情報漏洩について (3) SNSを利用する際のセキュリティ対策	4 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン

令和元年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	ホテルビジネス科	教科の区分	系基礎学科
教科の科目	安全衛生工学		
授業科目	安全衛生学	単　位	2
授業科目の目標	労働災害の概要、宿泊・調理・料飲接遇サービスに関する安全衛生、施設の安全衛生対策、防災の知識、作業環境と職業疾病についての知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時　間
1. 安全衛生の概要	(1) ホテルの安全衛生 (2) お客様に関わる安全衛生 (3) 従業員に関わる安全衛生	10 H
2. 衛生管理	(1) 情報機器作業ガイドラインの概要 (2) 作業に適した作業環境管理 (3) 労働安全衛生法に基づく教育	8 H
3. 災害とその対策	(1) 事業場が行う自主的な教育 (2) 健康保持増進措置とセルフストレスコントロール (3) 労働安全と社会保険制度	8 H
4. 職業病とメンタルヘルス	(1) メンタルヘルス (2) 職業性疾病と業務上疾病 (3) 労働災害事例 (4) メンタルヘルス対策の促進・支援体制	10 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ等機器

令和4年10月改訂

授業科目カリキュラム表

課程：専門課程

科　　名	ホテルビジネス科	教科の区分	系基礎学科
教科の科目	関係法規		
授業科目	関係法規論	単　位	2
授業科目の目標	ホスピタリティ産業に関わる法令についての知識を習得する。		

授業科目の細目	授業科目の内容	時間
1. 法律概論	(1) 法律とは (2) 日常生活と法律 (3) 家族関係と法律	4 H
2. ホスピタリティ産業に関係する法規	(1) 旅行業法・旅行業法施行規則 (2) 標準旅行業約款 (3) 運送関連約款 (4) 旅館業法、国際観光ホテル整備法、宿泊約款 (5) 食品衛生法、食品安全基本法 (6) 建築基準法 (7) 消防法 (8) 個人情報保護法	32 H
		合計 36 H

使用する機械器具等	パソコン、プロジェクタ等機器

令和元年10月改訂